

リエゾン薬物治療への取り組みについて

「リエゾン (liaison)」とは、連携する、つなげる、橋渡しをするという意味です。調剤薬局、病院薬局、薬学部のリエゾン薬剤師を目指す薬剤師が集まり、薬物療法の知識や技術を適用し、患者さまやそのご家族に薬物治療に参加してもらうこと、医療者、そして薬剤師の間をつなぎ、連携を図ること、橋渡しをすることによって、チーム医療を実現すること、そして「からだ」と「こころ」をつなぎ、全体的、統合された、質の高い薬物治療を提供する支援を行なうことを目指して、「つるまい薬薬薬連携協議会」を発足いたしました。

今回、このリエゾン活動の取り組みの一つとして、つるまい薬薬薬連携協議会では、「吸入治療連絡せん」を作成いたしました。この用紙は、医療機関や調剤薬局の待合室等に置いていただき、診察前に患者さまに記入して頂いて下さい。ごく簡単なアンケートですが、患者さまの発作以外の状態を的確に把握することが出来ます。また、毎回書いて頂くことにより、治療の進行状況を経時的に観察することが出来、喘息日記を導入していない患者さまの治療においても大変有用です。さらにアンケートの回答から、現在のわが国の気管支喘息治療・管理ガイドラインに基づく、喘息重症度別吸入薬投与量もご参照いただけます。

気管支喘息の吸入治療にあたっては、患者さまにご自分の病気やくすりに対して正しく理解し、関心を持っていただくことが最も大切です。また、定期的に通院し、日頃の状態を先生方にきちんと伝えて頂けるようにしなければなりません。**先生方から調剤薬局に対して、患者さまの服薬指導のご要望があれば、この「吸入治療連絡せん」に依頼内容を具体的にご記入の上、薬局の薬剤師にお見せ下さるようお話しして、患者さまにお預け下さい。**調剤薬局において服薬指導をした場合には、指導内容を記入の上、次回診察時に先生方にお見せ下さるようお話しして、再び患者さまにこの依頼せんをお預けします。この依頼せんを複写される場合には、必ず患者さまに同意を得てから複写保存するようにして下さい。

このような活動が、少しでも先生方の診療の手助けとなり、患者さまのより良い薬物治療に結びつけられれば幸いです。疑問な点等がございましたら、「つるまい薬薬薬連携協議会」事務局までお問い合わせ下さい。

連絡先：名古屋大学医学部附属病院薬剤部薬品情報室

TEL:052-744-2680, FAX:052-744-2685.